



第41号

富山県立南砺福野高等学校
令和5年12月15日発行

グローバル化がもたらす影響と外国との付き合い方

突然ですが、小松左京による「日本沈没」というSF小説を知っていますか。何度も映像化されており、2021年にTBS系列の「日曜劇場」で放送されていたので、見た人もいます。日本沈没の危機に直面し、政府が日本の国民を海外に移住させるために、諸外国と移民交渉をするというストーリーなのですが、そもそも日本は沈没しないし、1億人以上を移民させることは不可能だと思った人もいるでしょう。しかし、今後日本に災害などが起こり、海外の支援が必要となる場合も十分あり得ます。現代のグローバルな社会においては、国と国とが密接に関わり合い、一国の情勢が他国に深刻な影響を与えるということはよくあることです。ですから、日頃から他国との良好な関係を保つ必要があるのです。そこで今回は、身近な事例をいくつか取り上げ、外国との付き合い方について考えてみたいと思います。

■最近の国内情勢

①輸入食料品の不足

現在、ロシアのウクライナの軍事侵攻により、小麦の価格が世界的に高騰しています。両国は世界有数の小麦の生産地であり、今後の戦況次第では更なる高騰が予想されます。

価格が高くなるだけでなく、食料品そのものが輸入できないこともあります。例えば日本マクドナルドは、2021年1月9日より1か月程度「マックフライポテト」のMおよびLサイズの販売を一時休止し、セットメニューも含めSサイズのみでの販売としていました。原材料のジャガイモは北米から輸入されているのですが、船便の経由地であるカナダ・バンクーバー港近郊での大規模な水害や悪天候、コロナ禍での世界的な物流網の混乱の影響による輸入遅延が発生したことがその原因でした。販売中止に至ったのは、ジャガイモを空輸にしたり、国産ジャガイモに切り替えたりするのは困難だったからだと思います。（仮にそうしたとしても、商品の価格が跳ね上がったはずです。）



◆参考：日本マクドナルド商品の原材料の産地について（日本マクドナルドHP(※1)より作成）

【国産】 卵、レタス（一部台湾産・アメリカ産を使用）、トマト（一部韓国産・アメリカ産を使用）

【海外産】 ジャガイモ（アメリカ、カナダ）、牛肉（オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ）、鶏肉（タイ）、チーズ（ニュージーランド・オーストラリア・アメリカ・ヨーロッパ・日本）



過去にも同様のことがありました。2003年12月にアメリカでBSE（牛海綿状脳症、狂牛病）に感染した疑いのある牛が発見され、日本政府はアメリカ産牛肉の輸入を禁止しました。このことは安価なアメリカ産牛肉に支えられた牛丼チェーン店に深刻な影響を及ぼし、2004年には牛丼店なのに牛丼がメニューから消えた時期がありました。（代替メニューとして豚丼が登場しました。）

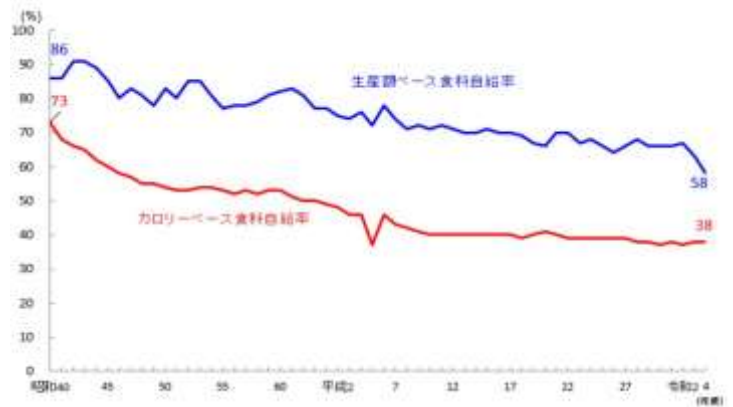
こうしたことの背景には、日本の食料自給率(※2)の低さがあります。令和4年度の日本の食料自給率（カロリーベース：1人が1日に摂取したカロリーのうち、国産のものの占める割合）は38%であり、近年はほぼ横ばい状態です。食料自給率を押し上げるのが喫緊の課題です。

【参考 Web サイト】

※1 産地について（日本マクドナルドHP）<https://www.mcdonalds.co.jp/cservice/list.productionarea/>

※2 日本の食料自給率（農林水産省HP）https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html

では、日本人の主食と言われるコメはどうでしょうか。「コメの自給率は 100%だから大丈夫」と思うかもしれませんが、実はかつて日本で米が不足するという事態が起きました。1993 年、記録的な冷夏により日本の米は大不作となり、政府は米の緊急輸入を行い、タイや中国から大量のインディカ米が輸入されました。しかし日本人の嗜好や伝統的な調理法に合わないことから消費は伸びず、事態が終息しても大量の在庫が残ったそうです。当時私も食べてみましたが、日本の



食料自給率の推移 (出典: 農林水産省 HP)



米よりも細長い形で、粘り気がなかった気がします。何より独特の匂いがあり、正直おいしいとは思えませんでした。日本の米はやはりおいしいです。近年では日本の米の輸出量が増えているようですが、米の輸出が拡大すれば、農業の担い手不足の解消につながるかもしれません。

②ガソリン価格の高騰

石油（原油）の価格が高騰しています。レギュラーガソリンの小売価格は、数年前は 130 円/L ぐらいだったと記憶していますが、最近では 170 円/L を超えています。主な原因としては、コロナの影響で停滞していた経済が一部動き出したことにより、生産や輸送など、経済活動のあらゆる部分において原油の需要が増えてきたことや、冬になり暖房などの燃料の需要が高まっていること、為替レートにおいて円安になっていること、などが挙げられます。さらに、ここへきてイスラエルとイスラム組織ハマスの紛争が暗い影を落としています。日本は中東に原油供給の 9 割以上を依存しています（※3、主な輸入先は、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、クウェートなど）ので、ハマスとイスラエルの紛争が拡大し、中東情勢が不安定になれば、日本はさらに大きな影響を受ける可能性があります。実際、世界銀行は、イスラエルとハマスの衝突が激化して中東情勢が一段と緊迫化すれば、最悪の場合、原油価格が 75% 高騰するなど、世界の商品市場は未知の領域に突入するおそれがあると警告しています（※4）。

原油はガソリン、灯油、プラスチック製品など私たちの生活のあらゆる部分に関わっており、企業活動や株価にも大きな影響を与えます。価格は様々な要因により変動するので、日本はエネルギー自給率（※5）を高める必要があります（2022 年度：12.6%）。

余談ですが、1973 年の第 1 次オイルショック時に起こった「トイレットトーパー騒動（※6）」をかすかに覚えています。（年齢がばれますね）。2020 年のマスク不足も記憶に新しいところです。我々消費者には冷静な対応が求められます。



【参考 Web サイト】

- ※3 石油統計速報（令和 5 年 10 月分）（経済産業省 HP）
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sekiyuso/result.html>
- ※4 世界銀行「原油価格が 75% 高騰するおそれ」中東緊迫化で（2023. 10. 23 NHK NEWS WEB）
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231031/k10014242521000.html>
- ※5 令和 4 年度（2022 年度）エネルギー需給実績を取りまとめた（速報）（経済産業省 HP）
<https://www.meti.go.jp/press/2023/11/20231129003/20231129003.html>
- ※6 トイレットトーパーはなぜ消えた？（2023. 4. 30）
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230428/k10014050991000.html>

③外国人労働者の不足



「[校長室だより第 19 号（真の国際人を目指して）](#)」にもあるとおり、日本における外国人労働者は国内の様々な産業の担い手として活躍しており、その数は年々増加していましたが、コロナの影響により、増加率は大幅に減少しました。ただ、2022 年には少し持ち直し、過去最多の 182 万人になりました（※ 7）。しかし、まだまだ不足していると聞きます。

特に深刻なのは、技能実習生の不足です。日本では、医療・福祉（介護）分野や農業、建設業等の分野において慢性的な人材不足が問題となっていますが、その不足を解消すべく外国人労働者、特に技能実習生を積極的に受け入れてきました。ですから、技能実習生に依存する企業などは現在対応に苦慮していると思われる。

外国人の観光客数もコロナで激減し、国内の観光業などに大きく影響しました。今年に入り、増加に転じてはいるようですが、今後日本で何かあれば、外国人観光客は再び激減し、日本経済にも大きな影響を与えることになります。

【参考 Web サイト】

※ 7 「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（令和 4 年 10 月末現在）（厚生労働省 HP）
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30367.html

■外国とうまくやっていくためには

言うまでもなく、日本は資源に乏しい国です。自給率を上げる努力は続けながらも、何らかの形で外国に依存することは避けることができません。また、超高齢社会となるにつれて生産年齢人口が年々減少しており（※ 8、15～64 歳の生産年齢人口は 12 年連続減少）、外国人労働者に頼らざるを得ない状況です。こうしたことから世界の国々とは良好な関係を維持していく必要があります。しかし、なかなか難しい問題もあります。

日本の最大の貿易相手国はどこか知っていますか。かつては輸出・輸入ともにアメリカが長くトップでしたが、近年は中国がトップ（※ 9）となっています。また日系企業の海外拠点数でも中国は第 1 位（※ 10）であり、日中経済関係は一層緊密になってきています。一方で、大国と



なった中国が覇権主義的な行動を強め、日本の安全保障上の懸念にもなっています。昨年は 1972 年の日中国交正常化から 50 年の節目の年でした。

（1972 年には、日中国交正常化を記念して上野動物園に 2 頭のジャイアントパンダが初めて贈られました。）日中関係については、特に注視していきたいものです。

外交について言えば、私たち一国民ができることはあまりないかもしれませんが、「[校長室だより第 19 号（真の国際人を目指して）](#)」でも書いたとおり、外国人や外国の文化などに対し差別や偏見をもたず受け入れること、幅広い視野をもち、地球規模で物事を考えることなどを心がけることが肝要です。そのためには、現在、日本や世界で何が起こっているのかについて興味をもち、積極的に知ろうとする姿勢が求められます。

【参考 Web サイト】

※ 8 外国人 2 年ぶり増、労働力なお不足 コロナ禍明け（2023. 4. 12 日本経済新聞）
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA11B2M0R10C23A4000000/>

※ 9 日本の貿易相手国ランキング【2021 年版】日本の最大の貿易相手国とは？（Digima）
<https://www.digima-japan.com/knowhow/world/18506.php>

※ 10 75,000 超！日本企業の海外進出ランキング「国別割合・進出形態・目的」を徹底分析！（Digima）
<https://www.digima-japan.com/knowhow/world/8392.php>

【おすすめ図書】

- 河上 多恵子 著 食が危ない! 食料危機があなたの食卓を襲う (PHP 研究所)
- 佐々木 良昭 著 結局、世界は「石油」で動いている (青春出版社)
- 宮島 喬 鈴木 江理子 著 新版 外国人労働者受け入れを問う (岩波書店)
- 池上 彰 著 海外で恥をかかない世界の新常識 (集英社文庫)



■創立 130 周年記念事業について

本校は、来年創立 130 周年を迎えます。このことを記念し、創立 130 周年記念事業実行委員会では現在広く募金活動を行っており、来年、正門と北門及び周辺の整備事業（武道場付近の舗装など）を行います。

また、令和 6 年 10 月 25 日(金)に本校第 1 体育館において創立 130 周年記念式典を開催するほか、記念誌の発行も予定されています。

130 周年を機に、本校がさらに大きく発展することを期待します。なお、記念事業については、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.nantofukuno-h.tym.ed.jp/sotsugyousei/dousoukai>



正門完成イメージ

◇最近の行事より

1・2 年国際科 国際みらい講座 (11/18)



アフリカンパーカッションバンド、AVOUDE(アヴデ)の皆さんの演奏を聞いた後で、ワークショップに参加しました。

キッズたちの学園祭 (11/23)



南砺市のイベントに国際科と福祉科の生徒が参加しました。多くの子どもたちとの交流を深めました。

福野里いもまつり (11/23)



今年はア・ミュー広場で開催され、農業クラブが野菜や果物などを販売しました。南砺市長にもお買い上げいただきました。

生徒総会 (12/2)



第 141 期生徒会執行部退任挨拶・活動報告の後、第 142 期生徒会執行部の紹介・活動予定の発表、質疑応答がありました。

南砺福野高校「校長室だより」 ご質問・ご意見投稿フォーム

下の URL をクリックするか、右の QR コードをスマホ等で読み取ってください。

<https://forms.gle/VNcvKUZbYPWsj8nj7>

